

第23回

親と子の古墳めぐり

平成17年5月5日



備陽史探訪の会

きょうの予定

午前

- 8時 福山駅前集合・受付
8時40分 鞆鉄バスで出発
↓
9時 「福山園芸センター」バス停到着
↓
9時15分 開会式・朝のあいさつ
↓
9時30分 出発です！
↓
○ 元禄塚古墳
○ 六つ塚古墳群
○ 四つ塚古墳群
○ 天津磐境(あまついわさか)～立石
○ 西の塚古墳

午後

- 0時30分 緑陽公園に到着
・お昼ごはん
・歴史のお話とクイズ大会あります！
↓
1時50分 午後の出発です
↓
2時30分 ○ 馬取貝塚
↓
3時 閉会式・お別れのあいさつ

※ 馬取貝塚で現地解散になります

(松永駅までのルート)

- ① 徒歩で約40分かかります
- ② バスの場合、馬取貝塚のそばにバス停があります
「新池」バス停 15時34分発 16時2分発
- ③ タクシーで駅まで約10分です

(松永駅での電車)

福山行き 15:48 16:05 16:19 16:35 16:49

葛江ルート of 古墳(遺跡)の見所

○ 元禄塚古墳

(時 代) 今から 1,400 年くらい前：古墳時代後期の 6 世紀後半

(かたち) 古墳をおおっていた土が流されているので、正確なことはわかりませんが、おそらく直径 15m くらいの丸い形(円墳)と考えられます。

(見 所) 比較的大きな石を積み上げて部屋を作っています。これを石室といえます。横から出入りすることができるので「横穴式石室」と呼んでいます。

部屋の部分(石室)と通路の部分(羨道：せんどう)に分かれているのが一般的ですが、この古墳ではその境目がハッキリしません。このことから、横穴式石室の中でも比較的新しい時代のものであると考えられます。

(人 物) 葛江地区の古墳の中でも大型の古墳です。おそらく、この地域を支配していた有力者であると考えます。

○ 六つ塚古墳群

(時 代) 今から 1,400 年くらい前：古墳時代後期の 6 世紀後半に連続して築かれた古墳群です。「群集墳」ともいいます。

(かたち) 土が流されているので、正確なことはわかりませんが、おそらく直径 10m 程度の丸い形(円墳)と考えます。

(見 所) 道の両側に横穴式石室が残っています。

道の下側に 4 つ、上側に 2 つが確認されていますから合計「6 つ塚」ですが、おそらく築かれたときにはこれよりも多い数だったと想像できます。

(人 物) 狭い範囲の中に、小規模の石室が、連続して作られている。こうした「群集墳」は、地域のリーダーの墓(たとえば、前方後円墳のような)というよりは、そのリーダーを支えていた人たちの墓であると考えられています。



六つ塚古墳群の様子

○ 四つ塚古墳群

(時 代) 今から 1,400 年くらい前：古墳時代後期の 6 世紀後半に連続して築かれた古墳群です。これも「群集墳」です。

(かたち) 土が流されているので、正確なことはわかりませんが、おそらく直径 10m 程度の丸い形(円墳)と考えます。

(見 所) 道べりに横穴式石室が残っています。

全部で 4 つ確認されていますから合計「4 つ塚」ですが、おそらく、この古墳群も築かれたときにはこれよりも多い数だったと想像できます。

(人 物) 狭い範囲の中に、小規模の石室が、連続して作られている。こうした「群集墳」は、地域のリーダーの墓(たとえば、前方後円墳のような)というよりは、そのリーダーを支えていた人たちの墓であると考えられています。

「六つ塚古墳群」の人たちとは別のグループであると考えます。



四つ塚古墳群の様子

○ 立石：天津磐坂(あまついわさか)

(見 所) 古代の「お祭り」がされていた場所です。

古代の人たちは、高いところや大きな岩に神様がやってくると考えていました。この「立石」は巨大な岩が山の頂付近にあること、そして、そこから松永湾を一望できることなどから、古代の人たちがこの岩を神様に見立ててお祭りしていたのです。



立石の様子

○ 西の塚古墳

(時 代) 今から 1,400 年くらい前：古墳時代後期の 6 世紀後半か 7 世紀の初めに築かれた古墳です。

(かたち) 土が流されているので、正確なことはわかりませんが、おそらく直径 10m 程度の丸い形(円墳)と考えます。

(見 所) ここにも横穴式石室が残っています。

石室の前半分が壊されているので正確な大きさはわかりませんが、長さ 5 m 以上はあります。

(副葬品) この古墳からは、亡くなった方と一緒に納めた品物（副葬品といえます）が見つかっています。

須恵器：“すえき”という古代の焼き物です。粘土で形を作った後に窯で焼いた、ねずみ色で硬い焼き物です。おそらく、お供えの食べ物などをいれたのではないかと考えます。

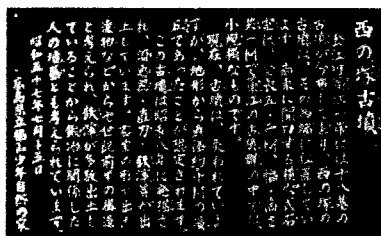
直 刀：鉄でできた刀です

鉄 滓：“てっさい”といって鉄を作るときに出てくるカスです。

道具として使うことはできませんが、鉄作りを仕事にしている人たちがお供え用に使っていたことがわかっています。

(人 物) 古墳としては小規模ですが、鉄滓が出土していることは重要です。

この地域で鉄作りをしていたこと、そして、その鉄作りの人たちの古墳であるということが想像できるからです。



西の塚古墳の様子

○ 馬取遺跡(貝塚)：広島県指定遺跡

(時 代) 今から 3,000 年以上前の縄文時代に作られた貝塚と、古代の生活跡が含まれています。

(出土品) 出土した縄文土器は、縄文時代早期から晩期におよぶものです。

その他、石器(石のやじり、石のおもり、石の加工道具など)、自然遺物(ハマグリ、ハイガイなどの貝類、イノシシ、シカなどの獣骨類)などが出土しています。

(見 所) 縄文時代の人たちが、保存食に干し貝を作ったのを貝の堆積層と見て見ることができます。

西日本地方には、規模の大きな貝塚の数が少ないので、この貝の層は必見です。

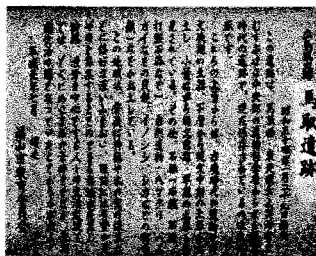
今でこそ干拓で陸地化されていますが、縄文時代には目の前に松永湾が広がり、後ろに広がる森と共に、縄文人は生活をしていたことが想像できます。



馬取貝塚の様子



真ん中部分が貝の層



説明版

